

経営発達支援計画

H30年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

商工会への支援ニーズ・個社の課題発掘調査レポート

地域経済動向調査レポート

～京丹後市版～

(平成30年7月～9月)

京丹後市商工会

商工会への支援ニーズ・個社の課題発掘調査レポート

— 個社が所属する部会(業界)に対する支援ニーズ調査編 —

2018年10月31日

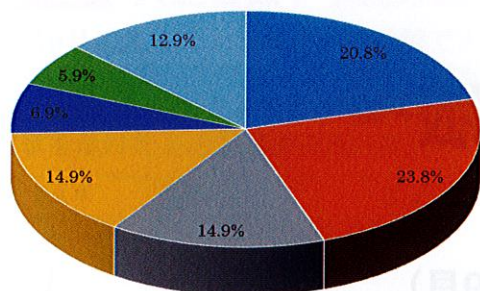
<調査概要>

【調査目的】個社の事業課題を把握すると共に、地域経済動向調査を併せて実施することで、事業者との関わり頻度を増やし、支援ニーズに沿った施策活用提案など支援の依頼機会の創出を目的として実施するものです。

【調査対象】地域内の小規模事業者等101件 【調査期間】2018年7月～9月

【調査方法】当商工会経営支援員による巡回ヒアリングによる調査票への選択記入式

商工会へ求める支援ニーズ部会(業界)編



■研修講演会 ■販路開拓 ■親睦事業 ■府や市への陳情
■他の機関等との連携 ■調査・研究 ■その他

<その他について>

以下のような意見が多かった。

- ・業界全体が盛り上がり、利益がでるような事業を企画してほしい。
- ・異業種や旧町毎との事業者交流を増やして、定期的に行ってほしい。
- ・業界における宣伝・PR活動を活性化(ブランド力強化)してほしい。

地域経済動向調査レポート—京丹後市版—

～猛暑や台風災害等の影響を受けて、わずかに悪化した市内の小規模企業～

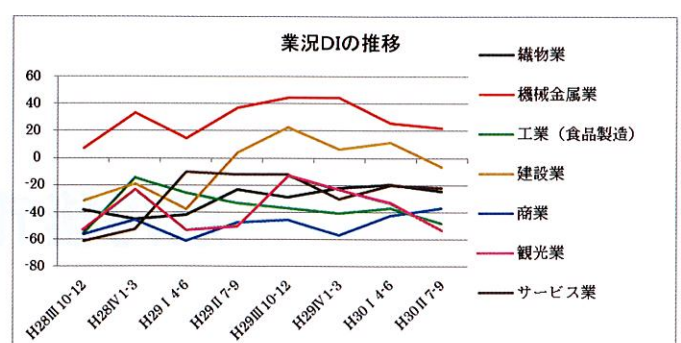
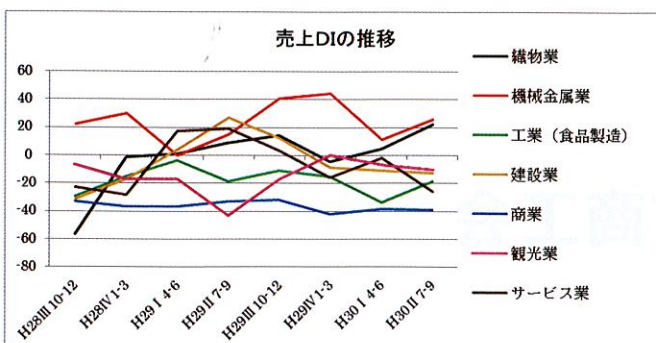
<調査概要>

【調査対象】地域内の小規模事業者等101件 【調査期間】2018年4月～6月

【調査方法】当商工会経営支援員による巡回ヒアリングによる調査票への選択記入式

<産業全体> 猛暑や台風災害等の影響を受けて、わずかに悪化した市内の小規模企業

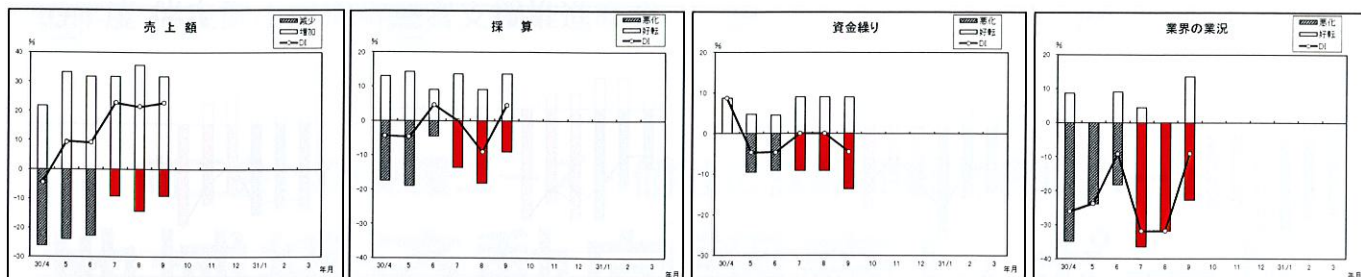
7月～9月の小規模事業者経済動向調査は、前四半期(H30.4～6月)と比較して、売上DIは1ポイント改善したが、採算DI、資金繰りDI、業況DIは、それぞれ6ポイント悪化した。西日本豪雨や台風による災害などが重なったことに加え、猛暑の影響が色濃く反映された四半期となった。業種によって、受けた影響が大きく異なるが、全体的にはわずかに悪化した。



※上記グラフは、過去の四半期毎の該当DIの平均値を算出しグラフ化したもの

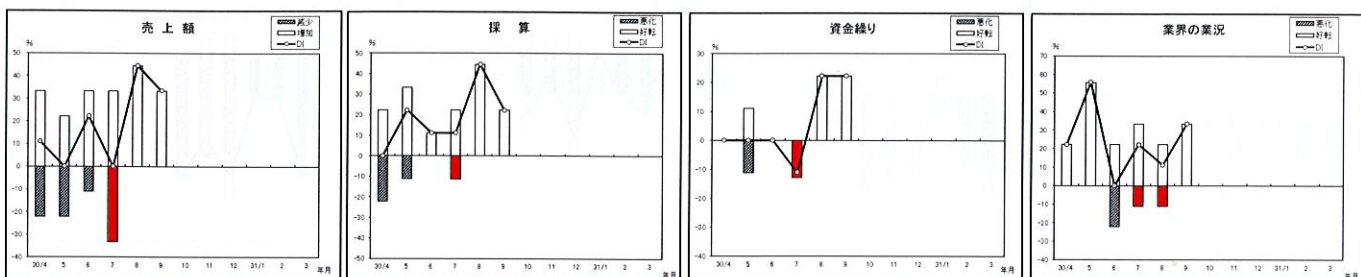
織物業 原材料高騰と織手不足の中で健闘するも、先行き不透明な織物業

織物業は9月に入り、売上DIは僅かに改善、採算DI、業況DIは大きく改善した。資金繰りDIのみ僅かに悪化した。前四半期との比較では、採算DIと資金繰りDIは不変。売上DIが17ポイント改善するが、業況DIは4ポイント悪化した。経営支援員からは、原材料高騰が高止まりしたものの、仕入値には反映されず、一部製品の受注量は安定しているが、利益確保が難しいとの報告があった。



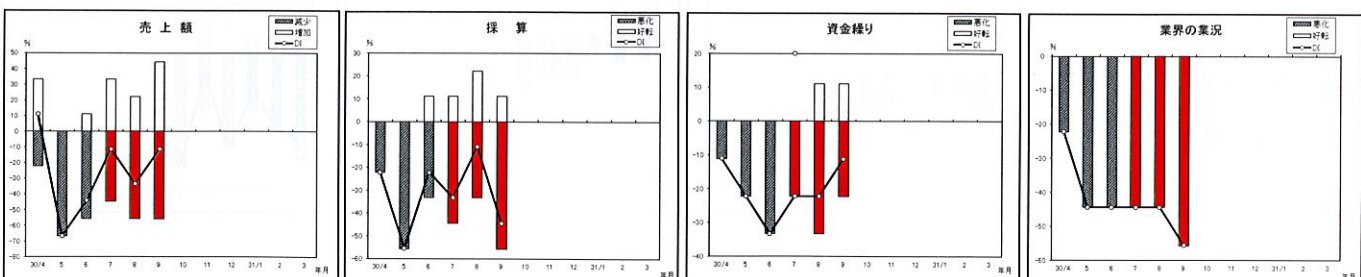
機械金属業 人材不足が足を引っ張るも、好調をキープする機械金属業

機械金属業は9月に入り、資金繰りDIは不変。売上DIと採算DIは悪化するも業況DIは改善し、前四半期と比較でも全ての項目で改善が見られ、好調を維持している。特に新しい機械や技術を導入した企業が売上を伸ばし生産増強などで活況を呈した。経営支援員からは、原材料高・人手不足が足を引っ張るも、受注量は今後も当面は順調に推移すると思われるとの報告があった。



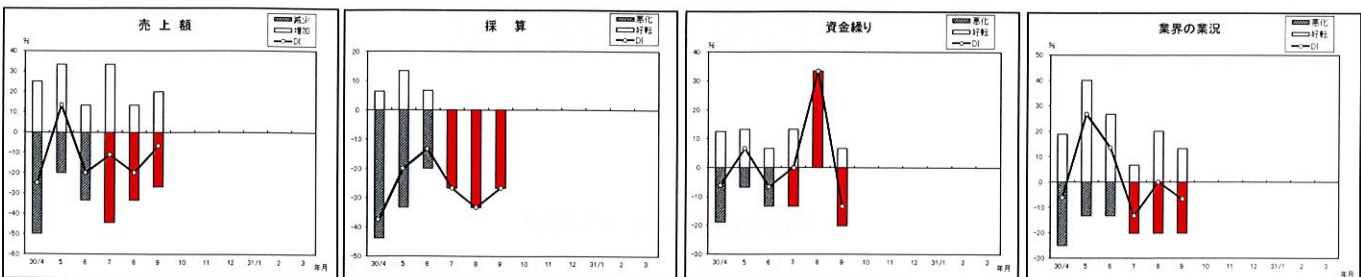
工業(食品製造) 猛暑に伴う需要高まる一方で外部環境による影響が影を落とす工業

工業(食品製造)は9月に入り、売上DIと資金繰りDIは改善したが、採算DIと業況DIは悪化した。前四半期との比較では、売上DI、採算DI、資金繰りDIが其々5～6ポイント改善。業況DIのみ1ポイント悪化した。経営支援員からは、猛暑の影響により冷菓等の季節商品の売上が伸びているという声がある一方、台風などによる自然災害の影響での原材料の高騰、仕入難など生産面に影響が出たとの報告があった。



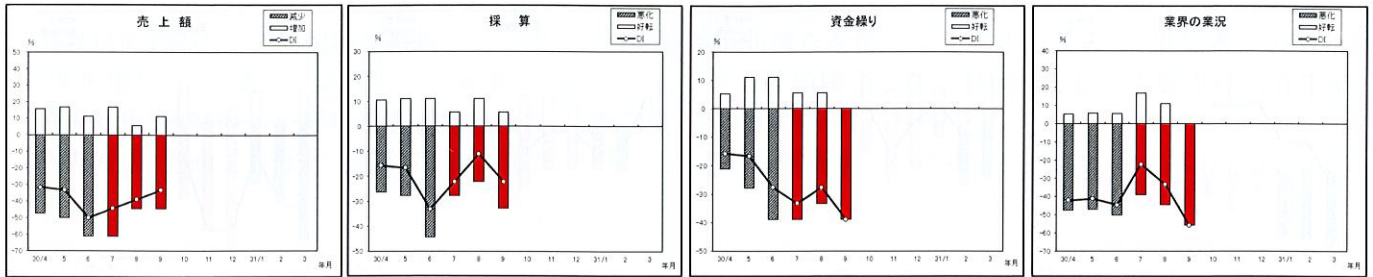
建設業 災害復旧工事増に繁忙を極めるも、燃料・資材高の影響を受ける建設業

建設業は9月に入り、売上DIと採算DIは改善が見られるも、業況DI、特に資金繰りDIは大きく悪化した。前四半期との比較でも資金繰りDI以外は全ての項目で2～6ポイント悪化を示した。経営支援員からは、災害関連の復旧工事で高稼働を維持しているが、猛暑による工期の遅れや、燃料・資材高の影響で採算・資金繰りに苦慮しているとの報告があった。



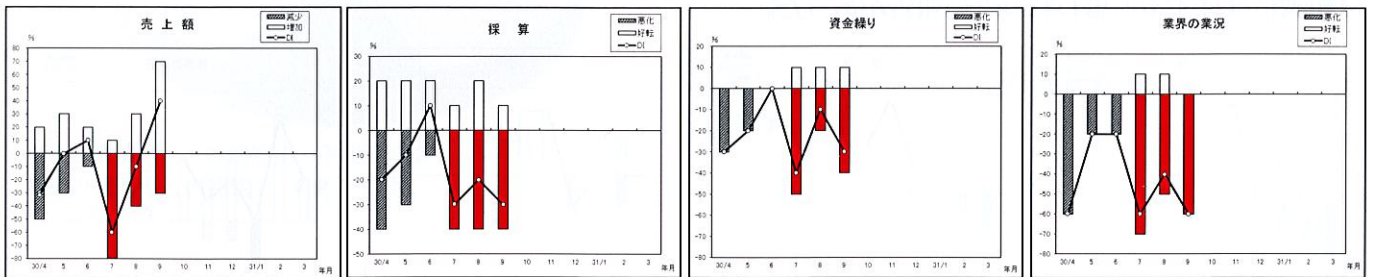
商業 天候の影響により客足伸びず、一部商材が好調も依然厳しい状況の商業

商業は9月に入り、売上DIは僅かながらも3ヶ月連続改善したが、その他の項目においては全て悪化した。前四半期との比較では、売上DIは不変。採算DIと業況DIは4ポイント改善するも、資金繰りDIは13ポイント悪化した。経営支援員からは、猛暑によって冷蔵や燃料販売は例年以上の好調であったが、台風の影響で客足が鈍り、業界全体の押し上げには繋がっていないコメントが多く見られた。



観光業 入込客数や予約好調の一方で、台風・災害の影響を受ける観光業

観光業は9月に入り売上DIは2ヶ月連続で大きく改善したが、その他の項目は悪化を示し、前四半期との比較でも全ての項目において悪化した。中でも業況DIは20ポイントと大きく悪化した。経営支援員からは夏休みやお盆、集客イベントの需要を取り込み売上は好調であった一方、猛暑や台風の影響で食材の価格が高騰し、利益確保に打撃を受けたとの報告が目立った。



サービス業(飲食店) 猛暑・台風の影響に原材料高騰も重なって打撃大きいサービス業

サービス業は9月に入り、全ての項目において悪化した。前四半期との比較においても、全ての項目で6～25ポイントと大きく悪化した。経営支援員からは、猛暑・台風によって客足が鈍った上、原材料高騰によって利益確保ができない。他にも慢性的な人手不足との声も多く見られ、今後も苦しい経営状況が続くのではとの報告が多かった。

